

1丁										裁 判 所			
年 号	出 生 地	現 住 所	本 籍	事 項	氏 名	出 生 の 日	旧 氏 名	庁 名	最高裁判所	内 閣	最高裁判所	内 閣	最高裁判所
五五	一〇	二四	三		あきよしひとみ	昭和三十三年一月五日			司法試験管理委員会		最高裁判所		最高裁判所
五五	一〇	二四	三		秋吉仁美				司法試験管理委員会		最高裁判所		最高裁判所
五五	一〇	二四	三						司法試験管理委員会		最高裁判所		最高裁判所
五五	一〇	二四	三	上智大学法学部卒業					司法試験管理委員会		最高裁判所		最高裁判所
五五	一〇	二四	三	司法試験第二次試験合格					司法試験管理委員会		最高裁判所		最高裁判所
五五	一〇	二四	三	司法修習生を命ずる					最高裁判所		最高裁判所		最高裁判所
五五	一〇	二四	三	司法修習生の修習終了					最高裁判所		最高裁判所		最高裁判所
五五	一〇	二四	三	判事補に任命する					最高裁判所		最高裁判所		最高裁判所
五五	一〇	二四	三	東京地方裁判所判事補に補する					最高裁判所		最高裁判所		最高裁判所
五五	一〇	二四	三	札幌地方裁判所判事補に補する					最高裁判所		最高裁判所		最高裁判所
五五	一〇	二四	三	兼ねて札幌家庭裁判所判事補に補する					最高裁判所		最高裁判所		最高裁判所
五五	一〇	二四	三	簡易裁判所判事に兼ねて任命する					最高裁判所		最高裁判所		最高裁判所
五五	一〇	二四	三	札幌簡易裁判所判事に補する					最高裁判所		最高裁判所		最高裁判所

2丁										裁 判 所					
	七		〃	〃		五	四			平成 三		〃		昭和六三	年 号
	四		〃	〃		四	四			三		〃		四	月
	一		〃	一二		一一	一			二二		一二		一	日
東京簡易裁判所判事に補する	東京地方裁判所判事に補する	兼ねて熊本地方裁判所判事に補する	熊本家庭裁判所判事に補する	判事兼簡易裁判所判事に任命する	補につき任期終了	裁判所法第四十条第三項の規定により兼官たる判事	簡易裁判所判事兼判事補に任命する	熊本簡易裁判所判事に補する	兼ねて熊本地方裁判所判事に補する	熊本家庭裁判所判事補に補する	より判事の職務を行わしむる者に指名する	判事補の職権の特例等に関する法律第一条の規定に	東京簡易裁判所判事に補する	東京地方裁判所判事補に補する	事

3丁										裁 判 所				
〃	〃	〃			〃			〃		〃	〃		平成 八	年 号
	一五	一四			一三			一二		一一	一〇			
〃	四	二			一			一		一	四		四	月
一二	一一	二五			六			四		四	一		一一	日
判事に任命する	裁判所法第四十条第三項の規定により判事任期終了	司法研修所教官に充ててることを解く	任期は平成十三年十二月三十一日までとする	命する	平成十三年度司法試験（第二次試験） 審査委員に任	任期は平成十二年十二月三十一日までとする	命する	平成十二年度司法試験（第二次試験） 審査委員に任	任期は平成十一年十二月三十一日までとする	命する	平成十一年度司法試験（第二次試験） 審査委員に任	司法修習所教官に充てる	裁判所判事につき任期終了	裁判所法第四十条第三項の規定により兼官たる簡易
内 閣		最高裁判所	〃		〃			法 務 省			最高裁判所			庁 名

秋吉仁美

5丁

5丁		裁 判 所												
			〃 二八	〃			〃	〃	〃 二六		〃		平成二五	年 号
			七	九			八	四	一		六		四	月
			二二	二五			一六	二四	一		二四		一二	日
	事 項													
	さいたま家庭裁判所長を命ずる													
	さいたま家庭裁判所判事に補する													
	裁判所職員総合研修所教官に充ててることを解く													
	法制審議会臨時委員を免ずる													
	裁判所職員総合研修所長に補する													
	裁判所職員総合研修所教官に充てる													
東京高等裁判所判事に補する														
法制審議会臨時委員に任命する														
部の事務を総括する者に指名する														
部の事務を総括する者に指名する														
東京家庭裁判所判事に補する														
部の事務を総括する者に指名する														
横浜地方裁判所判事に補する														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														
最高裁判所														

6丁										裁 判 所				
									〃 三	令和 二	〃 三一		平成 三〇	年 号
									一	一	一		一	月
									一	一	一		二九	日
									部の事務を総括する者に指名する	部の事務を総括する者に指名する	部の事務を総括する者に指名する	部の事務を総括する者に指名する	東京高等裁判所判事に補する	事 項
									〃	〃	〃	最高裁判所		庁 名

秋吉仁美